

## 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構運営委員会（第48回）議事要旨

- 1 日 時 平成28年12月21日（水）13:30 ～ 15:00
- 2 場 所 学術総合センター 1112会議室
- 3 出席者 池田、大沢、酒井、武市、田中、土屋、永田、二宮、藤垣、山本、吉川の各運営委員  
（新井、ビール、石井、大竹、金子、川嶋、高橋、舘、東福寺、新田の各運営委員は委任状提出）  
福田機構長、岡本理事、森理事、小笠原監事、柴監事、手島審議役、渡部管理部長、  
小山調査役、鎌塚評価事業部長 ほか機構関係者

### 4 運営委員会（第47回）議事要旨について

平成28年6月23日に開催された運営委員会（第47回）議事要旨（案）が確認され、確定版として了承された。

### 5 議 事

#### 《審議事項》

#### （1）教員の選考等について

審議に入る前に、教員に係る関係規則の改訂方針（案）について、岡本理事から説明があった。

##### ①専任教員の選考について

専任教員1名の選考について審議が行われ、原案どおり承認された。

##### ②専任教員の再任について

専任教員2名の再任について審議が行われ、原案どおり承認された。

##### ③特任教員の選考について

特任教員2名の選考について審議が行われ、原案どおり承認された。

##### ④特任教員の雇用更新について

特任教員5名の雇用更新について審議が行われ、原案どおり承認された。

#### 《報告事項》

#### （1）平成28年度計画の変更について

平成28年度第2次補正予算の成立に伴う独立行政法人大学改革支援・学位授与機構平成28年度計画の変更について報告があった。

#### （2）給与規則等の改正について

平成28年の人事院勧告に基づく給与規則等改正のうち、書面調査で機構長一任となっていた平成28年12月8日施行分の改正内容及び施行日等について報告があった。

#### （3）大学機関別認証評価委員会専門委員の選考について（会長一任）

平成28～29年度期の大学機関別認証評価委員会専門委員の選考について報告があった。

(4) 業務の実績に関する評価の結果について

独立行政法人大学評価・学位授与機構及び独立行政法人国立大学財務・経営センターの業務の実績に関する評価の結果について報告があった。

(5) 法人統合効果の発揮にかかる実施計画について

法人統合効果の発揮にかかる実施計画の策定について報告があった。

(6) 施設費貸付・交付事業について

平成 28 年度施設費貸付・交付事業に係る主なスケジュール等について報告があった。

(7) 学位授与事業について

平成 28 年度学位授与事業に係る主なスケジュール等について報告があった。

(8) 評価事業について

平成 28 年度評価事業に係る主なスケジュール等について報告があった。

(9) 質保証連携について

平成 28 年度質保証連携に係る主なスケジュール等について報告があった。主な意見は以下のとおり。

(○：運営委員 ●：事務局、以下同)

- 大学ポータルサイトのアクセス数は前年比でどれくらい増えているのか。
- それほど増えていない。本年 8 月頃に RSS を取得し、大学の情報やニュースを提供することでアクセス数を増やす試みを行ったが、非常に効果的だったとまではいえない。今試みているのは、高校生等の利用環境を把握し、来年 2 月頃にはモバイル端末からのアクセスができるように対応すること。できることから進めようとしている。アクセス数だけが問題ではなく、情報の信頼度を高めることや、情報の活用を図るようなツールを提供することによって責任を果たしていきたい。
- 質保証について、グッドプラクティスを出す競争のような状況にあり、不適切な事例はあまり指摘されていないように思う。国際連携の取り組みの中で、本来こういうことはあってはいけないような事例はあったか。特にアジアでは互いに連携するため、我々が最低限考えなくてはならない事例を題材にしながら質保証への取り組みを考えるとという視点もあっていいのではないか。
- 国際的な発信というところにはまだ足りていないのかもしれないが、大学認証評価機関連絡協議会のサイトでは、すべての大学の評価結果の一覧が見られるようになっている。認証評価機関全体としての最低限の義務は果たしているのではないか。
- サイトでは、国公私別、地区別、大学・短大・高専・専門職・大学院別、年度別で評価結果を一覧できる。
- 評価の基準を満たさないことについては、評価結果の中で指摘をしており、全体として不適格であるということも一覧表の中で見ることができる。
- 評価の基本的な考え方として、大学の自己評価を基にチェックを行う形をとっているため、認証

評価というものについての根幹にかかわる問題かもしれない。

- 日本私立学校振興・共済事業団の補助金の審査において、点数を付けられたり、指摘をされることがある。どこまでしなければいけないかという方向と同時に、何をしてはいけないかということ、私学事業団との話し合いの中でいつも教えてもらう。補助金は評価とは別だが、質保証とは一体何かということを考えさせられる。

質保証をあまり知らない研究者も多いため、大学運営の中で陥りやすい部分等も教えてもらえるとうありがたい。日本の高等教育全体の質保証として、国際連携では捉えていると思っていた。

- 質保証全体をどう捉えるかということ。機構が中期計画の中で新たに質保証連携を柱にしていることからすれば、事業としての認証評価等と少し違う視点からも質保証を考えるきっかけになるご指摘と考える。

## 6 その他

今回の運営委員会は、3月21日（火）に開催することとし、詳細については、後日事務局より連絡することとされた。

以上